

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35794
事業名	雑がみ選別施設運営管理費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 施設管理課				
	課長名	犬伏 哲浩	担当者名	伊藤 高二郎	電話番号	211-2922
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	プラント設備の運転、機器の点検整備・修繕を行う。 建物及び付帯設備の維持管理を行う。			
		長期	スリムシティさっぽろ計画に基づき、市が分別収集した雑がみを資源化ルートに乗せるために選別処理する。			
	取組内容	スリムシティさっぽろ計画に基づき、分別収集する「雑がみ」から、リサイクルに適さないものを除去し、再生可能な紙資源を選別・梱包して、資源化ルートに乗せるための施設の運営管理を業務委託により行う。 年間処理計画量:10,935t				
	実施結果	搬入された雑がみを適正に選別処理することができた。 必要な整備・修繕を行ったことにより、故障等による受入停止が無かった。				
事業実施における工夫点	施設の老朽化に伴い適切な整備や保守を行う必要があるが、実施内容を精査し経費の圧縮に努めた。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例					
他都市の状況	他の都市においても同様に行われている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	208,155	193,382	221,470	195,787	
うち特定財源	73,720	155,119	155,119	0	
人工	1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	215,355	200,582	228,670	202,987	
事業費の内訳	令和3年度決算	修繕等需用費 2,999千円 電気料金等光熱水費 11,209千円 運転業務等委託料 204,728千円 その他 2,534千円			
	令和4年度予算	修繕等需用費 1,500千円 電気料金等光熱水費 12,348千円 運転業務等委託料 179,854千円 その他 2,085千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	雑がみ処理量(t)			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
		11,003	10,935	9,017	10,480	
活動指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	施設に搬入された雑がみはすべて適正な選別処理を行った。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	建物の老朽化により修繕費等は増加傾向にあるが、修繕方法等の見直し等により、経費の節減を図っている。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	当該施設の運転管理など可能な限り委託で実施することにより、民間のノウハウを活用し事業を効率的に運営している。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	当該施設の運転管理など可能な限り委託で実施することにより、民間のノウハウを活用し効率的に事業を実施している。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映		
今後の改善点	「雑がみ」全量を処理できる民間施設が存在しないため、当該施設は受入を停止することができない。そのため、引き続き機器の適切な整備・更新を実施していく必要がある。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	適切な機器整備を行うため、必要となる修繕の内容について整理した。			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	適切な管理、整備を行い、長期間の受け入れの停止が無く運用できたため。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 限られた経費の中で効率的に必要な修繕を進めていく。				
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 現状の予算規模で不足する分については、拡充も視野に入れながら適切な整備を進めていく。			見直し効果額	0